

発達障害のある方への就労支援に関する調査

千葉県発達障害者支援センター

I.就労訓練に関する発達障害者の受入れ状況について

問 1.貴事業所がある市区町村について教えてください。

問 2.貴事業所における昨年度（平成 26 年度）の発達障害のある方の利用人数を教えてください。あてはまるものに○をつけてください。

発達障害の種類	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	1 0 人以上
自閉スペクトラム症（ASD） ※自閉症、自閉性障害等を含む					
広汎性発達障害（PDD）					
アスペルガー症候群（AS）					
学習障害（LD）					
注 意 欠 如 ・ 多 動 性 障 害 （ADHD）					
その他 （ ）					

問 3.手帳を取得されていない方の受入れを積極的に行っていますか。

あてはまるものに○をつけてください。

① 行っているもしくは行う意思がある	②行っていない
--------------------	---------

問 4.手帳取得のガイダンスを行うケースはどの程度ありますか。

あてはまるものに○をつけてください。

①利用開始前（見学や相談の時点）に 行っている。	②利用開始後に行っている	③行っていない
-----------------------------	--------------	---------

問 5.貴機関を利用されている発達障害のある方が所持されている手帳は、精神障害者保健福祉手帳と療育手帳のどちらが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

①精神障害者保健福祉手帳	②同程度	③療育手帳
--------------	------	-------

問 6. これまでの発達障害者の就労実績はどの程度ありますか。

人

問 7. 発達障害の方にインターンシップ・職場実習の回数をどの程度確保していますか。

① 1～3回	② 4～5回	6回以上	10回以上
--------	--------	------	-------

Ⅱ. 支援プログラムの内容について

問 1. 現在、取り組まれているプログラムを教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。

	実施している	実施していない
パソコンを使用したトレーニング		
事務作業を想定したトレーニング		
ピッキングや軽量など実務作業を想定したトレーニング		
身体的負荷を目的とした作業 (配達、運搬など)		
精神的負担を目的とした作業 (反復作業、立ち作業など)		
ストレスマネジメントを目的とした講習		
感情コントロールを目的とした講習		
JST (job skills training) ※職業場面に限定した対人関係に関するトレーニング		
SST(social skills training) ※全般的な対人関係に関するトレーニング		
職業講習 ※ビジネスマナー、求人票の見方、応募書類の書き方		
面接練習		

	実施している	実施していない
ハローワークの利用における講習会		
ジョブコーチの利用における講習会		

その他、取り組まれているプログラムがあればご記入ください。（自由記述）

問 2. アセスメントについて教えてください。あてはまるものに○をつけてください。

	知っており、 検査結果を 活用している	知っているが検査結果 を活用していない	聞いたことがない
GATB（厚生労働省編一般職業適性検査）			
ワークサンプル（MWS）			
ウェクスラー式知能検査（WAIS-III）			
TTAP			
Vineland・II			

その他に、取り組まれているアセスメントがあればご記入ください。（自由記述）

問 3. 支援を行う中で配慮している点について教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。

	実施している	必要を感じているが 実施していない	必要を感じない
特性に配慮した作業設定			
特性に配慮したジョブマッチング			
キーパーソンの明確化			
具体的な指示や説明			
必要に応じて他者の感情や状況について具体的に説明をする			
1日、1週間、1ヶ月などの単位でスケジュールを具体的に伝える			
現時点から就職までに見通しを具体的に伝える			
当日取り組むべき内容を具体的に伝える			
視覚的にわかりやすく伝える			
毎回同じ流れや手順で行う活動を取り入れる（ルーティンの活用）			
職場環境に応じた過敏性への対処を検討する（耳栓、イヤマフ、サングラス、ついたて等の活用、席の配置の配慮など）			

	実施している	必要を感じているが 実施していない	必要を感じない
本人の作業のしやすさを配慮した補助具の活用			
本人が対処できる指示の量の調整			
作業に使用する物品をあらかじめ整理して提示する			
大事な情報はハイライトをつけるなどして強調して伝える			
本人に合った休憩の取り方を検討する			
初めてのことは事前にシミュレーションを行う			
動画や写真などを用いて見通しを伝える			
特性に合わせた手段で取り組み状況の振り返りを行う（自己評価と他者評価の擦り合わせ、ビデオフィードバック等）			
自分でスケジュール管理が出来るようにサポートする			
実施すべきことの進捗管理を自分で出来るようにサポートする			
本人の特性や状況に応じたリマインダーの活用について検討する			
本人の特性や状況に応じたメモの活用について検討する			
読み書きや計算について本人の特性や状況に応じた代替手段について検討する			
報告や援助要求などの本人からの自発的なコミュニケーションについて特性に配慮してサポートする			
当たり前のことでも具体的にルールとして伝える。			
<u>週に何回か</u> の定期的な相談を設けている			

	実施している	必要を感じているが 実施していない	必要を感じない
月に何回かの定期的な相談を設けている			
必要に応じてタイムリーな相談を設けている			
進路選択においてメリット、デメリットを具体的に伝える			
他機関との情報共有を密にする			
定期的に家族を含めた相談の場を設定する			
作業内容に関して本人の興味関心を確認する			
利用意欲の向上を目的とした対応 (クオカード、給料の支給など)			
生活リズムの安定を目的とした支援を実施している（生活リズムの安定）			
自己理解を促すための支援を実施している			
感情コントロールを目的とした支援を実施している			

その他、配慮している点があればご記入ください。（自由記述）

--

問 4.支援を行う上で課題となっていることを教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。

	課題を感じる	課題を感じない
安定して訓練に参加することが出来ない、休みがちになる		
生活のリズムを整えることができない		
コミュニケーションに齟齬が生じる		
自分自身の現状を踏まえた目標設定ができない		
長期的な展望を踏まえた現在の目標設定ができない		
感情コントロールができず、攻撃的になってしまう		
併存する他の障害（精神障害など）における課題		
生活面におけるトラブルが多い（借金、親子関係など）		
医療機関との連携		
他の就労支援機関との連携		
教育委機関との連携		
家族との連携		
実習先の開拓		
職場開拓		
関係機関とのネットワーク形成		
支援者の人材確保、育成		

その他、課題となっていることがあればご記入ください。（自由記述）

--

Ⅲ.当センターにおける要望、また実施して欲しい研修内容等がございましたら
ご記入ください（自由記述）

御協力ありがとうございました。